

いけだ

令和8年(2026年)2月1日
IKEDA City Council News

No.
198

市議会だより

市議会

だより

池田市議会本会議の
ライブ中継を行っています！

池田市議会 ライブ中継



* 目次 Contents

主な審議内容	2
委員会レポート	2~3
議決結果	4
一般質問	5~10
特集1「意見書・決議とは」	10
特集2「市議会を傍聴して みませんか？」	11
議会日誌	12
議会の予定	12
やまばと	12



主な審議内容

12月定例会

12月定例会は、12月2日に開会し、市長から議案30件と人事案件1件が提出され、本会議及び委員会で審議を行い、いずれも可決・同意しました。

また、9月定例会で閉会中の常任委員会に審査付託した令和6年度決算8件についても認定しました。

12月23日・24日の継続会では、市民の声を広く市政に反映させるため、16人の議員が一般質問を行い、12月定例会を閉会しました。

(仮称) 多世代交流施設新築工事に 係る請負契約3議案を可決

令和9年度中の供用開始を目指して計画されている、(仮称) 池田市立多世代交流施設の新築に係る建築、電気設備及び機械設備に係る工事請負契約3議案が提出されました。

本施設は旧敬老会館跡地に、旧敬老会館、花園会館、旭丘会館の3施設を集約し、高齢者や子育て世代など、様々な年代層の方々が交流できる老人福祉センターと地域集会施設の機能を兼ね備えた複合施設として整備されます。

また、施設内には誰でも気軽に利用できるよう、フリースペースやキッズスペース、ベビーリラクゼーション室、学習室などが設けられます。

審議の中では、「施設完成後に期待される役割」「災害時における指定緊急避難場所としての指定予定」「大阪・関西万博の大屋根リングの木材やパビリオンの設備等の多世代交流施設へのリユースの可能性」などについて質疑を交しましたが、結局、全会一致で可決しました。

救急車購入のためにと受け入れた 寄附金3千万円を基金に積立て

今回、市民から救急車購入のためにと受け入れた寄附金3千万円をみんなでつくるまち推進基金に積み立てる内容を含む一般会計補正予算案が提出され、全会一致で可決しました。

安全・安心なまちづくりを支える貴重な御支援に心から感謝申し上げます。

総務委員会

市の機構改革によって改善される点及び 環境関連部門を市民活動部へ移管するに 至った経緯は《事務分掌条例の一部改正》

問 本条例改正は、市長の権限に属する事務をより適正かつ効率的に遂行し得る行政組織に再編するため、機構改革を行うものであるが、どのような点が改善されると考えているのか。

また、前回令和5年度に行った機構改革で設置されたまちづくり環境部を廃止し、環境関連部門を市民活動部へ移管するに至った経緯について問う。

答 今回の機構改革における改善点の1つとして、これまで2つの部門で分担して行っていた業務を1つの部門に統合することにより、業務の重複を解消し、事務

処理の効率化が図られることを考えている。

市民にとっても、複数に分かれていた窓口が一本化されることで手続の分かりやすさや利便性の向上につながるものと考えている。

また、今回の環境関連部門の移管は、環境施策の重要性は変わらず、社会情勢や行政需要の変化を踏まえ、最適な組織体制を検討した結果であり、環境施策を市民活動の一環として捉え、市民との協働を進めるため、市民活動部への移管が適切であると判断した。

部の削減が目的ではなく、あくまで限られた職員体制の中で、効率的な行政運営を目指した組織再編の一部である。



教員が指導主事として勤務する場合のモチベーション維持の考え方は《一般職の職員の給与に関する条例の一部改正》

問今回、指導主事その他の職員の給与について、義務教育等教員特別手当及び教職調整額の支給を廃止する条例改正案が提案された。

教員の多くは子どもたちと直接関わることにやりがいを感じ、教職に就いていると考えるが、今後、学校現場から教育委員会の指導主事として配属される教員や、すでに指導主事として勤務している教員はどのようにモチベーションを維持していくべきと考えているのか見解を問う。

答学校現場の教員が教育委員会の指導主事として配属された場合等のモチベーションを維持する方策としては、子ども

たちと直接関わる機会は少なくなるものの、池田市全体の子どもたちの笑顔につながる教育施策に携わることができるという、別のやりがいを見いだすことがあると考えている。

また、多数の小・中学校の教員の中でも指導主事として従事できる教員は限られており、使命感を持って俯瞰的に本市の教育行政を見られることや、様々な経験を積むことができ、教員としてのスキルアップにもつながるものと認識している。

一方で、給与面については、今後進められる教員の処遇改善の状況を勘案しつつ、異動に伴う不整合が生じないよう、適切な制度設計に努めていきたいと考えている。

こども誰でも通園制度の利用に係る申請手続の周知方法は《特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定》

問今回の提案は来年4月から本格実施となる、いわゆるこども誰でも通園制度の運営に関する基準を定めるものだが、当該制度の対象となる方が当該制度を利用する際の申請から利用開始までの具体的な流れについて問う。

また、本市として、利用者が当該制度をスムーズに利用できるよう、どのように周知を行っていこうと考えているのか問う。答こども誰でも通園制度の利用に当たっては、まず、本市の電子申請フォームか

ら利用登録申請を行っていただく必要がある。

次に、本市において対象児童であるかを審査し、確認できた場合にこども家庭庁が運用する総合支援システムの利用者アカウントを発行する。

その後、利用者が同システムを通じて施設事業者との事前面談を予約し、面談終了後に利用日時の予約を行っていただく流れとなっている。

また、利用手続の周知については、現在、市ホームページや公式SNSを活用して行っており、本格実施となる来年度からは広報誌を含め、より一層の周知を図っていきたいと考えている。

本市において林野火災が発生した場合の対応及び平時からの訓練内容は《火災防除条例の一部改正》

問今回の提案は全国で林野火災が多発している状況を受け、林野火災の防止に向けた火災に関する警報に係る整備等を行うため、本条例を改正するものだが、万一、本市において林野火災が発生した場合の対応について問う。

また、林野火災に対する平時からの訓練内容について問う。

答林野火災が発生した場合の対応については、初動として、10t水槽車を含む5台の消防車両を出場させる計画としており、状況に応じて消防団とも早期に連携

して、対応を進める方針である。

また、延焼が拡大した場合には、広範囲かつ長時間にわたる消防活動が必要となるため、早期の段階でヘリコプターの要請や、近隣自治体への応援要請を検討し、迅速かつ適切な対応に努めていきたいと考えている。

林野火災に対する訓練については、平時から山火事を含む火災防ぎよ訓練を実施している。

特に、林野火災に特化した訓練としては、山林火災防ぎよ計画に基づき、五月山の各ハイキングコースにおいて火災を想定したホース延長訓練などを実施している。

議決結果

提出議案等	議決結果	大阪維新の会		池田未来の会		自由民主党		公明党		未来はぐくむプロジェクト		日本共産党		無所属							
		池田	吉川	笹村	土田	下野	西垣	中田	坂上	小林	浜地	松本	多田	荒木	藤本	園部	倉田	名村	山元	藤原	守屋
賛成:○ 反対:×																					
全員異議なし:(全) 賛成多数:(多)																					
(注)議長は採決には加わりません。																					
<12月定例会>																					
令和6年度池田市病院事業会計決算の認定について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市水道事業会計決算の認定について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市公共下水道事業会計決算の認定について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	(多)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
令和6年度池田市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(多)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
令和6年度池田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	(多)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
令和6年度池田市一般会計歳入歳出決算の認定について	(多)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
池田市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市事務分掌条例の一部改正について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市行政手続条例の一部改正について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市個人番号の利用等及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市印鑑条例の一部改正について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市市税条例の一部改正について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市保育所等設置認可等審議会条例の一部改正について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市都市計画法施行条例の一部改正について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市道路占用料条例等の一部改正について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市火災予防条例の一部改正について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市ホームヘルパー手数料条例の廃止について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(仮称) 池田市立多世代交流施設新築工事請負契約の締結について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(仮称) 池田市立多世代交流施設新築電気設備工事請負契約の締結について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(仮称) 池田市立多世代交流施設新築機械設備工事請負契約の締結について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産区管理委員の選任について	(同)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市一般会計補正予算(第9号)	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事院勧告に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育公務員特例法第13条第2項の条例で定める校務の種類を定める条例の制定について	(多)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
池田市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	(多)	×	×	×	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
池田市立幼稚園型認定こども園の教育職員の給与に関する条例の一部改正について	(多)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
令和7年度池田市病院事業会計補正予算(第2号)	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市水道事業会計補正予算(第3号)	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第4号)	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市一般会計補正予算(第10号)	(全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市一般会計補正予算(第11号)	(多)	×	×	×	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
最低賃金の引上げ及び中小企業支援拡充を求める意見書	採択 (全)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ①部活動地域展開の目的と教職員・児童への意向調査について
 ②ジェンダーギャップ解消における市役所内での今後の取組について



土田 麻衣
議員



大阪維新の会池田

問1 将来にわたって地域でスポーツや文化芸術を続けられる環境を整えていく方針には共感できるが、保護者への周知や理解促進が必要であると考える。実施に際し、教職員・児童への意向調査は行っているのか。また、働き方改革の背景も踏まえ、過労死ラインと言われる月80時間を超える残業を行っている教職員の割合について問う。

答1 過去に行ったアンケートでは、教職員の約8割が地域移行に賛成している。児童からは現在の部活動にはないダンスなどの種目を希望する声や、低頻度での開催を希望する声が多かった。中学校教職員の残業は非常に多く、2022年度では12.4%が月80時間を超えていた。

問2 男女問わず優秀な人材が働き方などを理由に管理職へ登用されないことがないよう、職員への意識調査アンケートで課題を可視化することだが、アンケートの詳細について問う。

答2 今年度中には実施。結果は来年度以降の人事施策に生かしていく。項目には「昇格の障壁となっていることは何か」等を入れる予定。

- ①市長のいう「前例踏襲」を許さない」とは
 ②事業の妥当性判断のため「見える化」実施は
 ③栄町商店街公衆トイレ改修できないか



古川 裕倫
議員



大阪維新の会池田

問1 財政制約の中、前例踏襲では改革は進まない。市長の言う「前例踏襲を許さない」とは、どの分野を指すのか。また、各部署で選択と集中を徹底しているのか。

答1 特定分野ではなく全ての分野で前例踏襲を排除し、選択と集中を進めていく。

問2 人件費や間接経費が事業別に見えにくく、事業の妥当性を判断するため、その「見える化」を実施する考えはあるのか。

答2 人件費の事業別算定は難しい。経費は事業改廃の判断基準の1つ。

問3 年間90万人が訪れていたカップヌードルミュージアムから商店街への回遊を促進するには、清潔なトイレ整備が必須。栄町商店街公衆トイレの改修を。

答3 歩道上のため、建て替えは困難。他のトイレとの統廃合を検討する。

- ①住宅セーフティネット制度について
 ②ICTを利用した出席認定期制度について
 ③ペットとの同行避難の住民周知について



笹村 有理子
議員



大阪維新の会池田

問1 住宅セーフティネット制度の国の動向と池田市の現状は。また、相談窓口でニーズをキャッチした後の支援の流れについて問う。

答1 令和7年に改正住宅セーフティネット法が施行。本市に相談があった場合は必要に応じて大阪府指定の居住支援法人等につなぎ、住まいの確保に向けた支援を行っている。

問2 やむを得ず学校へ登校できない児童・生徒に対し、ICTを活用した学習等について、出席認定期制度の周知状況と利用状況を問う。

答2 出席認定期制度は、児童・生徒の状況に応じて、各学校から該当家庭へ周知を行っている。子どもの状況や保護者の要望に応じ、学校と教育委員会が連携し、速やかな支援に努めている。

問3 ペット防災の取組や同行避難の住民への周知方法について問う。

答3 ペットのための防災ノートの作成やペット同行避難用タグの発行申請書を市HPに掲載し、地域の防災訓練等で周知をしている。

一般質問

- ①来庁者に優しく
居心地のよい
市庁舎づくりについて
②部活動の地域移行に伴う
誰もが参加しやすい
地域クラブについて



なむら けんじろう
名村 研二郎
議員



未来はぐくむプロジェクト

問1 エレベーター内に平時は高齢者や体調が優れない方への配慮として、非常時は防災対策として機能する災害備蓄品を収納できる簡易椅子を設置できないか、見解を問う。

答1 エレベーター内に簡易椅子を設置することの有効性は理解している。椅子の形状や安全性、多機能性を考慮するとともに、財政状況も鑑みながら、設置について検討していきたい。

問2 部活動の地域移行について、誰もが参加しやすいクラブとして地域と連携して様々な活動を行う「地域ボランティアクラブ」や、様々なスポーツを楽しむなど「スポーツレクリエーションクラブ」を全ての学校で展開できないか、見解を問う。

答2 新たに学校にクラブをおくことについては、地域移行の目的から外れるのではないかと懸念するが、近隣市の取組を参考にしながら、コミュニティ・スクールとして地域の方々に支援していただくことも視野に入れながら、研究していきたい。

- ①児童・生徒を虐待・性暴力被害から守る人権教育や取組について
②充電式モバイルバッテリーの回収・ごみ処理施設の火災事例について



おき もと じゅんこ
沖本 純子
議員



大阪維新の会池田

問1 子どもの虐待や性的被害、オンライン上のトラブルが増加する中、本市として包括的性教育を強化する必要性について、見解を問う。

答1 性の多様性やジェンダー平等など、幅広いテーマを扱うことが可能と認識。中学3年生では、性に関する啓発冊子「Cherish Yourself」を用いて出前授業を実施予定。人権教育や情報モラル教育を含め、子どもたちの安心・安全を支援する教育に努めていきたい。

問2 膨張や破損した電池やモバイルバッテリーの回収について、市民からの問合せ状況やごみ処理施設での事故の状況及び今後の対応について問う。

答2 本市への問合せも数件ある。粗大ごみの破碎工程等では、小規模な発火や爆発が日常的に発生し、火災に至る事例もある。破損や膨張したモバイルバッテリーなど、使用済みリチウム蓄電池等の回収については、国の統一的な指針が現時点では示されていない中の対応となっているが、国の動向を注視しながら、検討していきたい。

- ①聴覚情報処理障がい、
聞き取り困難症
(LiD/APD)
に関する池田市の福祉、
医療、教育の支援体制について



そのべ けいこ
園部 佳子
議員



未来はぐくむプロジェクト

問1 聴覚情報処理障がい、聞き取り困難症(LiD/APD)に関する池田市の支援体制について、福祉、医療、教育が連携した、きめ細やかな支援体制の構築が実現可能であると考え、実現を強く願う。軽度難聴児補聴器購入等助成事業の要件の見直しも含め、見解を問う。

答1 聴力検査が正常であっても、日常生活や学習環境において困難を抱える方がいることは、本市としても認識している。市立池田病院では、耳鼻いんこう科において、聴覚情報処理障がい、聞き取り困難症に対し、検査をはじめ、補聴器の作製・装用指導、言語発達検査、言語リハビリ、吃音診察などを行っている。全国的に対応可能な病院が少なく、当院HP等で周知し、紹介受診をお願いしている。教育委員会では、学校生活における学習や生活上の困難軽減を図る合理的配慮から、必要に応じて補聴援助機器ロジャーシステムの貸出しを行っている。軽度難聴児補聴器購入等助成事業については病院と連携し、状況把握に努めながら、助成対象とできるか検討していきたい。

- ①財政健全化と
地域活性化について
②地域公共交通の維持
と再編について



まつ もと こうじろう
松本 康二郎
議員

自由民主党



- ①市内で進む高層マン
ションの建設について
②五月山大一文字がんが
ら火祭りの取扱いは

問1 市街化調整区域の見直しに当たり、農園業の後継者不足や耕作放棄地の現状を踏まえ、区域の一部規制を緩和し、緑と産業や商業が共存できる企業誘致を進める考え方について、見解を問う。

答1 細河地域を含む市街化調整区域については、まちづくり基本方針を策定しており、策定から5年が経過している。今後は、自然環境保全に配慮しつつ現状を検証し、基本方針の見直しと企業誘致の研究を進めていく。

問2 路線バス減便や担い手不足が進む中、次世代モビリティーやコミュニティバス、オンデマンドバスの導入による地域公共交通の維持策について、見解を問う。

答2 減便による市民生活への影響については、認識している。自動運転などの次世代モビリティーは、公共交通の維持や人手不足解消に資する可能性がある。一方、安全性や費用面などの課題も大きく、次年度地域公共交通計画の見直しの中で検討していかたい。



さか がみしょう えい
坂上 昭栄
議員

池田未来の会



- ①財政再建計画の策定
と公表について
②学校応援ふるさと
納税制度の創設について

問1 地域の景観が変化し、五月山の自然環境や歴史的・文化的景観が損なわれるのではないかという懸念が市民から寄せられている。景観行政団体としての位置づけは重要であると考えるが、見解を問う。

答1 今年度の都市計画審議会においても、景観行政の強化を求める意見が出されている。景観はまちの価値を高める重要な要素と認識しており、近隣市の事例を参考にしながら取組を進めていく。

問2 「大阪府無形民俗文化財」として指定されているが、今年度から登録当時と比べ、内容に変更が生じている。誤った認識が市民の間に広がらないよう、事実関係を明らかにする必要がある。今後も補助金の交付を継続する方針なのか、見解を問う。

答2 今年度から火やお札については、これまでの池田の愛宕神社ではなく、京都の愛宕神社のものに変更されたと聞いている。政教分離の観点から市として関与できないが、本市を代表する行事であり、今後も継続的に支援を行い、安全・安心に開催されるよう関与する。



くら た あきら
倉田 晃
議員

未来はぐくむプロジェクト



問1 財政が危機的な状況にある中、事業の見直しを中心とした歳出削減と歳入増に取り組むに当たり、具体的な数値目標を設定し、その数値を落とし込んだ3年から5年の短期的な財政再建計画の策定と公表が必要であると考えるが、見解を問う。

答1 現時点では、具体的な数値目標の設定や改善計画の策定などは行っておらず、事務事業の見直しなどで対応を進めている。現下の状況に鑑み、別途目標値を明示することについても検討していく。

問2 ふるさと納税制度を活用し、学校を指定して寄附できる仕組みを導入することで、寄附者に关心を寄せていただくとともに、各校が取り組む特色ある学校づくりの財源として活用できると考える。制度創設の見解を問う。

答2 寄附者の意向を尊重するため、現在、関係部局と課題解決に向けた協議を進めている。大阪府の「ゆめ基金」(母校応援ふるさと納税制度)も参考にしながら、引き続き、導入に向けて検討していく。

一般質問

- ①日清食品ホールディングス（株）のオフィス機能施設移転について
②緑のヘルプマーク普及について



もりやひろみち
守屋大道
議員

無所属



- 問1 日清食品ホールディングス（株）が本市に拠点の一部を置くことで市政運営や官民連携の協働体制に与えるメリットについて問う。
答1 「インスタントラーメン発祥の地」である本市に拠点の一部が置かることで、本市のイメージ向上が期待されるほか、従業者による市内消費を通じ、地域経済の循環と活性化が促進されるものと考えられる。また、地域貢献活動への参画も期待されることから、移転後は、庁内の各種プラットフォームで接点を持ち、連携を一層深め、地域課題の解決を図っていきたい。

- 問2 緑のヘルプマークの普及が、障がいのある方への助け合いを促し、地域共生社会の実現につながると考えるが、見解を問う。

- 答2 当該マークは支援が必要な方に対して支援する側の意識を可視化するツールとして発案されたものであり、助け合いの社会を実現する1つのアイデアとして注目されていると聞いている。今後は、国や他自治体の動向を注視していく。

- ①池田駅前における駐輪場と横断歩道の現状と今後の対策
②池田駅南広場クレバのゴムチップ舗装の窪地への今後の対応について



あぐろよしお
安黒善雄
議員

大阪維新の会池田



- 問1 令和8年には池田駅北側にスーパーが開業予定であり、自転車置場や横断歩道の混雑が懸念されるが、現状と今後の対策について問う。
答1 駅周辺には主要な駐輪場が7か所あり、自転車約2,900台、自動二輪車約450台収容できる。昨年度の調査では、全体として利用率が100%になる時間帯はなく、大きな不足はない認識しているが、一部の時間帯では、利用が集中し利用できない状況がある。駅前周辺の駐輪場の増設も視野に入れ、放置自転車への指導巡回を徹底する。また、ダイエー前の横断歩道は、歩行者や自転車利用者が多いことは認識している。今後は交通量調査を行った上で、スクランブル交差点や信号機の設置などを警察の意見を伺いながら検討していく。

- 問2 池田駅南広場クレバにおいて、ゴムチップ舗装の窪地で転倒しが人が出ていると聞くが、今後の改善に向けた対応について問う。

- 答2 人工芝の敷設も1つの方法として、その効果や安全性、維持管理方法なども勘案し、利用者の安全を最優先に環境改善を進めていく。

- ①こども食堂への本市の関わり方にについて
②インフルエンザ予防接種費用の助成について



しもさくあきら
下宿明
議員

池田未来の会



- 問1 本市はこども食堂開設支援事業として補助金の支給事務を行っており、過去には市の主導でこども食堂の情報交換会が実施されたと聞くが、近年実施されていない理由について問う。

- 答1 こども食堂は地域の自主的な善意と支え合いによって成り立つ組である。行政の過度な介入で、特色や柔軟性を損なわないよう配慮してきた結果であるが、必要な場面で寄り添いながら、運営上の不安や課題について相談していただける関係づくりに努めていく。

- 問2 子どもがインフルエンザに感染すると、看病のため保護者が仕事を休まざるを得ず、さらに保護者も感染することで再び休むなど、家庭に大きな影響が生じる。子育て施策の一環として、例えば高校受験を控えた中学3年生への予防接種費用の助成を実施できないか問う。

- 答2 いくつかの保険組合等では、医療費削減を目的に助成していること。本市が助成を行うことについては、被接種者に寄り添った目的設定と財政状況を勘案し、総合的に検討していきたい。

- ①福祉政策面から見た
住宅政策について
②土のうステーションの
増設について



ふじ もと まさ ひろ
藤本昌宏 議員



公明党

問1 改正住宅セーフティネット法では、国土交通省と厚生労働省が連携し、自治体による居住支援協議会の設置を努力義務として推進されている。また、住宅確保要配慮者への居住支援は、喫緊の課題であることから、本市においても居住支援協議会を設置すべきでは。

答1 本市には居住支援法人がないものの、居住支援法人を活用した広域的な居住支援協議会の設置に向けて検討していく。

問2 近年の急激な集中豪雨により、どこでも浸水リスクが高まっている。土のうステーションが近所に設置されていることは、「自助」「共助」意識の醸成に資すると考えられることから、土のうステーションが設置されていない五月丘小学校、秦野小学校及び北豊島小学校区域への増設を求める。

答2 地域からの要望や設置可能な場所などを勘案しながら、必要に応じて設置の可能性について検討していきたい。

- ①物価高騰対策交付金
市民に優しい施策を
②園芸高校とのコラボ事
業は大きなチャンス
③子どもたちのSNS依存
一步踏み込んだ対応を



た だ りゅう いち
多田隆一 議員



公明党

問1 今回の交付金額は、8.6億円と大幅に増額されている。給食費無償化や、上下水道料金の減免に充ててもまだ余裕があると考える。そこで、高齢世帯や低所得世帯に対する施策にも取り組んではどうか。

答1 広く市民全体に還元できる施策について現在検討中。提案に対しては、スキームや効果を精査しながら検討していく。

問2 本市のみならず、近隣市からも通学してくる学生がいる園芸高校との連携事業は、本市行政に関わる取組として、将来の関係人口や定住人口の増加のチャンスである。さらなる事業展開を図るべきでは。

答2 指摘のとおり、コラボ事業は人材育成や定着の観点から有意義であると考える。今後、府内各部門において、適切に推進していく。

問3 子どもたちが利用しているSNSやゲームアプリはいじめの温床になっている。他市のように一步踏み込んだ対応を行るべきでは。

答3 デジタル教材の配布に加え、教職員研修の実施や授業での活用を行っている。今後も、子どもたちの情報モラル教育を進めていく。

- ①学校給食費は
中学校も無償化に
②未就学児支援の充実を
③樹冠被覆率を高め
ヒートアイランド現象の
対策を



やま もと たけし
山元建 議員



日本共産党

問1 国は26年度から小学校給食費の無償化の方針を示している。中学校及び義務教育学校後期課程も無償化を継続すべきでは。

答1 国の重点支援地方交付金を活用して26年度の中学校給食費の無償化を実施する方向である。

問2 多子世帯、産後うつ対策、見守りおむつ定期便制度の導入、ファミリーサポート制度の利用料値下げなど、未就学児支援の充実を。

答2 乳児全戸訪問事業で育児不安の軽減に努めている。様々な事業で児童虐待の発生予防を図り、児童の健全育成の支援に取り組んでいく。見守りおむつ定期便と同様の妊娠期から切れ目ない支援に努めている。ファミリーサポート制度は実効性のある取組を検討する。

問3 高木剪定、長寿命化を図り、樹冠被覆率を高め、ヒートアイランド現象の抑制を。

答3 公園・道路などの面的な緑化環境を総合的に捉え、緑被率や樹冠被覆率の低下を招かないよう努めていく。

一般質問

- ①重度障がい児・者に対する支援強化でバリアフリーのまちづくりへ
②どの子も安心して通える保育所、保育制度へ
自治体の果たす役割は



藤原 美知子
議員

日本共産党



問1 重度障がい児・者の入院時食事代は、1日約1,300円で、長期入院となりやすいため保護者負担が大きい。相談支援や訪問リハビリ、装具の指示ができる医師の確保、タクシー助成の拡充、欠席加算引上げなど、家族や事業所への支援強化を求める。

答1 令和6年度の報酬の改正により、送迎加算は医療的ケアの必要度も踏まえた評価となるなど、医療的ケア児や重症心身障がい児等への支援が図られた。今後も国の動向を注視していく。

問2 保育所入所申込みと待機児童の現状、保育士配置基準、安全で差別のない保育の提供に向けた取組、国・自治体の役割、公的責任について問う。

答2 令和7年4月入所申込みは716件、潜在的待機児童数は190名。令和8年度入所申込みは12月12日締切で695件となっている。保育の公的責任として必要とする子どもに安全・安心な保育を提供できるよう、保育の量と質の確保が重要であると認識している。

特集 1



市議会は、市民の代表として、市政に市民の声を反映させるとともに、市政が適正に運営されているかを監視するなどの役割を担っています。

市民の生活は、市が行う施策はもちろんのこと、国が行う施策によっても、様々な影響を受けます。

そこで市議会は、これらの機関に対しても積極的に働きかけ、住民意思の反映に努める必要があります。

このような働きかけの方法として、市議会では“意見書”的提出や“決議”を行うことが認められています。

意見書

地方公共団体の公益に関する事件に関し、市議会が地方公共団体の機関としての市議会の意思を意見としてまとめた文書を意見書といいます。

市議会は、当該地方公共団体の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出し、制度等の改善や新設などを求めることができます。
例）国の負担で学校給食費の無償化を求める意見書

決議

決議は、当該普通地方公共団体の公益に関する事件について、市民の代表機関である市議会の意思を対外的に表明することなどを目的とした議決です。

例）パレスチナ自治区、ガザ地区における平和の早期実現を求める決議

意見書は関係行政庁への働きかけを前提としているのに対して、決議は、市議会の意思表明自体を目的としています。

特集2 市議会を傍聴してみませんか？

本日は、
池田市議会傍聴の
当日のながれ
ご案内します。



本会議の場合

委員会の場合



本会議の傍聴受付は
4階です。
エレベーターを4階で降りて、案内表示がある方へ進みます。



受付で住所と氏名を御記入ください。
注意事項と当日の資料をお渡しします。



受付を済ませたら、空いている傍聴席に座ってお待ちください。



本会議では、議案の審議や採決、一般質問などが行われます。



委員会の傍聴受付は
3階の議会事務局です。
エレベーターを3階で降りて、案内表示がある方へ進みます。



議会事務局の職員にお声がけください。
受付で住所と氏名を御記入ください。
注意事項と当日の資料をお渡しします。



傍聴許可証を分かりやすい位置に身に着けてください。
受付を済ませたら、職員が委員会室へ御案内します。



委員会では、本会議で各委員会へ付託された議案の審査などが行われます。
終了後、傍聴許可証と資料は議会事務局へ御返却ください。

本市議会は年4回（3月、6月、9月、12月）の定例会と、必要に応じて開かれる臨時会があり、本会議や委員会（各常任委員会、各特別委員会、議会運営委員会）は、一般に公開されています。

※本会議は先着順、委員会は希望者が5名を超えた場合は抽選となります。

会議日程はいけだ市議会だよりや市議会ホームページをご覧いただか、議会事務局までお問い合わせください。

また、本会議の模様は本会議ライブ中継・録画配信からもご覧いただけます。



議会日誌

月 日	内 容
10 14	土木消防委員会
15	市議会だより編集特別委員会
16	厚生委員会
23	各派代表者会議 文教病院委員会
28	厚生委員会
30	総務委員会
31	土木消防委員会
11 6	市議会だより編集特別委員会 各派代表者会議
10	文教病院委員会
17	総務委員会
25	議会運営委員会
27	各派代表者会議 議会運営委員会

月 日	内 容
12 2	市議会定例会 市議会だより編集特別委員会
4	土木消防委員会
5	厚生委員会
9	文教病院委員会
11	総務委員会
23	各派代表者会議 議会運営委員会
24	市議会定例会 議会運営委員会
1 9	市議会だより編集特別委員会
15	市議会だより編集特別委員会

議会の予定

3月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

月	日	曜日	内 容
2	27	(金)	本 会 議
3	6	(金)	本 会 議
	9	(月)	本 会 議
	11	(水)	委 員 会
	12	(木)	委 員 会
	16	(月)	委 員 会
	19	(木)	委 員 会
	27	(金)	本 会 議

献血御協力のお礼

昨年の12月13日に、本市議会が主催となり、献血推進活動を行いました。

たくさんの方々に足を運んでいただき、72名の方が献血の受付を、10名の方に骨髄バンクのドナー登録をしていただきました。
献血とドナー登録に御協力いただきまして誠にありがとうございました。



「声の市議会だより」を郵送で貸し出します

市内にお住まいの視覚障がいのある方（障がい者手帳をお持ちの方）に、「声の市議会だより」を無料で、郵送により貸し出しています。
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせは議会事務局
(電話) 754・6170

やまばと

余寒なお厳しき折、市民の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素より市議会に対しまして、御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、令和7年度も残すところ2か月となりました。本年度は、8月に池田市長選挙及び市議会議員補欠選挙が行われ、市長選挙におきましては、立候補者が1人であったことから無投票となり、瀧澤市長が再選され、2期目の市政がスタートいたしました。市議会におきましても定数22名がそろい、改めて活発な議論を重ねながら、市政運営に取り組んでおります。令和8年度に向けた予算審議におきましても、市民の皆様の声に寄り添った施策となるよう、引き続き議論を深めてまいります。

今後とも、議会の取組や内容を分かりやすくお伝えできるよう、より一層充実した紙面づくりに努めてまいりますので、引き続き御愛読賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

市議会だより
編集特別委員会

●委 員 長 坂上 昭栄 ●副委員長 沖本 純子
●委 員 名村 研二郎 藤本 昌宏 藤原 美知子 浜地 慎一郎

いけだ市議会だより No.198
令和8年(2026年)2月1日発行

編集発行：池田市議会 <https://www.city.ikeda.osaka.jp/>
〒563-8666 大阪府池田市城南1丁目1番1号
TEL.072-754-6170 FAX.072-753-5414

